

質問者 阿部 律子

質問事項	質問の要旨
<p>1 実効性のある防災訓練であるために</p>	<p>平成26年度原子力防災訓練が実施（1月27日）され、宮城県、女川町、石巻市の他にUPZ5市町（登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町）も加わった初めての住民参加型の避難訓練が行われました。</p>
	<p>その中で女川町民は、北浦地区を中心に15名程度の参加であり、福島原発事故後の避難訓練にしては人数も少なく、震災前と後でどこがどのように変わったのか、危機感を持つての避難訓練だったのかと疑問を持ちながら見学しました。</p>
	<p>そこで次の点について伺います。</p>
	<p>(1) 福島原発事故後、初めての住民参加型の避難訓練でしたが、どのような評価をしていますか。</p>
	<p>(2) 参加した住民の声として、風向きの報告もなく、マニュアルどおりの避難訓練でどうなのかとの疑問も寄せられています。これらについてどう思われますか。</p>
	<p>(3) 3月末までに、避難計画を作成するとしていますが、避難する際の自家用車数、避難用バス、要援護者の問題、安定ヨウ素剤の配布等、</p>

質問事項	質問の要旨
2 介護危機にならないために	問題は山積みです。
	また、避難先自治体が栗原市となっています
	が、栗原市との協議も含めて、きちんと示せる
	のでしょうか。
	(質問の相手：町長・担当課長)
	介護保険制度の改定により、国は来年度予算案
	で、過去最大規模の介護報酬削減（2.27%減）を
	打ち出しました。
	女川町においても、待機者が多い特別養護老人
	ホームですが、今でさえ介護職員不足という状況
	の中で、さらなる待遇悪化につながるのではない
	か、介護の危機になるのではと懸念されます。
	介護保険制度改定により、施設側、利用者側共
に影響はどうかと心配されますが、次の点	
について伺います。	
(1) 特別養護老人ホームやグループホーム、老	
人保健施設等、貴重な福祉施設でありなが	
ら、介護報酬削減により、さらに介護職員が	
不足する事態になれば、本町にとっても大き	
な痛手となりますが、実態をどのように把握	

質問事項	質問の要旨
	<p>していますか。</p> <p>(2) 第7次高齢者福祉計画において、介護サービスの体制充実をかかげ、介護事業者、介護人材の確保・育成をうたっていますが、具体的にはどう支援していくのですか。</p> <p>(3) 平成29年度に新しい総合事業として、要支援者の訪問介護、通所介護を自治体へ移行するとありますが、どのような見通しがついていますか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>